

一打に込める、魂の響き — 和太鼓の魅力に迫る!

今回は6月に南大沢でコラボレーション公演を控える、三宅島芸能同志会さんと鼓童さんに、八王子とのゆかりや、お互いの印象、活動する中で感じる熱い思いなど、たっぷりとお聞きしました!

三宅島芸能同志会 津村和宏さん



八王子とのゆかりがあると伺っています。

2000年の三宅島の噴火により、拠点を八王子に移して活動を開始しました。20年以上八王子市に住んでいます。市内での劇場公演は今回が初となります。この縁をきっかけに、太鼓で八王子を盛り上げていけたらと思っています。

鼓童との出会い、共演への思いを教えてください。

私の生まれた年(43年前)に鼓童さんが三宅島に来て、三宅の太鼓を習っていたいきました。その時に指導したのが父で、そこからつながりて今日に至ります。

鼓童さんとの共演は、14年前の父の遺言公演がきっかけでした。それから長く関係が続いており、毎回切磋琢磨して舞台を作り上げています。6月の公演でも共演する中込健太さんは、かつての鼓童・研修生時代の同期で、普段は物静かで優しい彼ですが、いざ太鼓に向かると、感情

鼓童 住吉佑太さん



活動の理念を教えてください。

「多様な文化や生き方が響き合う、ひとつの地球を目指す」という活動理念のもと太鼓と共に世界中を巡りながら、演奏活動をしています。

三宅島芸能同志会との共演で感じることはありますか。

音に力があると感じる強靱な足腰。毎回目が覚めるような体験です。演奏の中で大事にされていることは何ですか。

「音そのもの」はもちろんなのですが音が出てくるまでの音と音の間、音が鳴っていない時間を充実させられるように、いつも心がけています。

太鼓はどのような存在ですか。

古くも新しい「メディア」のようなものだと感じています。それぞれの表現のメディアであり、「コミュニケーション」の核にもなりうる

共通の価値観としてのメディアですね。

やりがいを感じる瞬間はありますか。コンサートで拍手をもらう瞬間は、一番直接的に達成感があります。また、長く時間をかけて培ってきたものを感じる時もやりがいを感じます。

活動をすすめるうえで難しいことや、大変なことはありますか。

僕らは2年間の厳しい研修生活を経ないと鼓童メンバーになれません。携帯電話などをすべて手放し、朝から晩まで芸事に邁進する日々は楽しいことばかりではありません。それを耐え抜くことや、人材を育てるのは大変だと感じています。

今後、叶えたいことは?

舞台の上で、チケット料金をいただいて演奏する大鼓音楽の歴史はまだ50年余りしか経っていません。とても新しいジャンルであるにも関わらず、多くの方が「古臭い」「固定概念をもっている」と思っています。そういうものを払拭しながら、より多くの人に舞台に足を運んでいただくように努力していきたいと思っています。

公演を楽しみにされている方へメッセージをお願いします。

アコースティックな音環境での、最大音量を体験できる唯一無二の舞台だと思っています。一振動として伝わる音だけではない、気迫と魂のバイブレーションをぜひ、劇場で体感してください!



学生から見た八王子の魅力を発信! 『八王子学生CMコンテスト』表彰式に潜入!



八王子学生CMコンテストとは?

学生ならではの視点で、八王子市の魅力を発信する、30秒の動画CM作品を募集。個人または団体のメンバーのうち1名が八王子市在住・在学であれば誰でも応募が可能で、優秀作品は市のPRコンテンツとして全国に向けて発信されます。2月4日(日)に八王子市学園都市センターにて開催された、令和5年度八王子学生CMコンテストの表彰式。受賞作品の発表とともに、応募全40作品が大型スクリーンで上映されました。表彰式後の交流会では、学生たちと審査員が和やかに談笑する姿も見られました。

参加した学生さんにお話を伺いました!



私は学内の「山短ローズガーデンエンジョイプロジェクト」に参加しており、出品作でも八王子の市民バラ園の多さに着目し、その魅力を広めたいという思いを込めました。バラの開花時期に合わせての撮影はタイトな日程でしたが、13のバラ園にご出演いただき、プロジェクトメンバーの協力もあって完成しました。動画には自作イラストを動画にした経験を活かしたキャラクターも登場させています!



学科のゼミメンバーで参加しました。八王子の魅力として私たちが実感しているのは、自然の豊かさと街の賑わい、暮らしやすさという2つです。わかりやすく示すために画面を2分割する構成にチャレンジしました。演者の顔を出さずに感情を表現する方法を模索したり、思い描く画をイメージ通りに撮影する難しさを感じたりと、良い経験になりました。来年もまた動画作りに挑戦してみたいです!

コガスゴイ 八王子は大学や専門学校が多い学園都市。動画CMの30秒には、学生たちの目線で見つけた地域の魅力が詰まっています。役者の演技やアニメーション、コピー、撮影、音楽など、表現方法も個性豊か。個人でもチームでも参加できるので初心者も気軽に取り組みやすいのも魅力です。このCMコンテストを通して、新人映画監督の登竜門「八王子Short Film映画祭」学生部門に挑戦するクリエイターも誕生しています。今後の活躍に乞うご期待!



最優秀賞作品 『八王子しりとり』めりっと(中央大学)

全ての参加全作品は
こちらからcheck!

審査員よりコメント



岡野敏之さん(特別審査員) 株式会社電通クリエイティブ・ディレクター

出品作品において動画作成のテクニックの差は年々縮まっています。より自分らしい表現を追求するには、個人的な視点から八王子の好きどころに迫ってみるのもいいかもしれません!



栗野由美先生 八王子学生CMコンテストワーキンググループ座長 東京造形大学 造形学部 教授

CM動画の作成を通して場所の記憶が育まれ、より八王子に親しめると感じます。クリエイターの訴求力や共感を引き出す、間口が広いコンテストでありたいですね。

令和6年度の参加作品を募集中!

【エントリー・作品提出期間】5/1(水)~11/24(日) 応募資格やコンテスト概要は大学コンソーシアム八王子公式ホームページに掲載中。最優秀賞には金5万円のほか副賞が授与され、全受賞作品は全国に発信されます。



ホームページ